

いのちの大切さを伝える素敵な映像作品が完成しました！

地球生きもの いのちのつながり 生物多様性(15分)

2010年は、国連が定めた「国際生物多様性年」。そして、いよいよ10月、名古屋において、世界193の国と地域が集い、地球の未来を決めるとても重要な会議 COP10が開催です。

そして、今回、地球生きもの委員会では、IUCN(国際自然保護連合)の親善大使を務めるイルカさんのナレーションと、地球生きもの委員会堂本暁子委員の統括プロデューサーにより、とても素敵な映像作品(15分)を制作しています。

是非、この機会に、地球上のいのちのつながりや、様々な生きものいのちの尊さ、大切さを学んでみませんか？

生物多様性に関連するイベント等で、映像の使用を希望する企業や団体等の方はお申し出下さい。

地球生きもの委員会 映像化プロジェクトでは、生物多様性の重要性をより多くの人々に伝えたいという思いから、映像作品のDVDを提供しています。

学校や企業、自治体、各種イベント等で是非ご活用下さい。



- 出演:岩槻 邦男 山崎 晃司
- 協力:NITE(製品評価技術基盤機構)、千葉県立中央博物館、海の博物館、茨城県自然博物館、東京大学大学院理学系研究科附属植物園
- 制作:生物多様性JAPAN、BS-TBS、TBS-V、Green TV Japan、環境省

本映像は、以下の団体や企業の賛同により実現しました。

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

東京電力、住友生命、出光興産、サントリー、積水化学

※Green TV Japanでも無料配信中！どなたでもご覧頂けます。

URL:<http://www.japangreen.tv/journal/#/000814>

<お申し込み先>

文京区春日1-13-27中央大学工学部生命科学科
植物系統進化学研究室 生物多様性JAPAN

TEL:03-3817-1886(FAX兼用) e-mail:mail@bdnj.org



「地球生きものいのちのつながり～生物多様性」 映像作品完成に寄せて

日頃どのような生き物と関係を持っているか、考えてみたことがありますか？今朝、何を食べたか思い出してみてください。

パンは小麦から酵母(菌類の一種)を使って作ります。一緒にトマトやレタスのサラダとか、ハムか目玉焼きもいただきましたか？バターは牛乳から作りますし、何のジャムを塗りましたか？紅茶もコーヒーも植物起源ですし、お砂糖を入れたらこれもサトウキビが元になっています。ご飯を食べた人は、和食はもっと様々な生き物を使った食事ですから、食べた生き物の数はぐんと多くなるはずですよ。これが皆さんの朝ご飯です。

毎日の生活で、注意して数えれば、私たちはものすごい数の生き物たちのお世話になって生きています。その生き物たちのそれぞれもまた、数えきれないほどの数の他の生き物たちとお互いによりかかり合って生きています。地球上の生き物は、しっかりしたいいのちのつながりを持ち合っているのです。このいのちのつながりを「生物多様性」と呼んでいます。

2010年は国際連合が国際生物多様性年に指定しています。10月には名古屋で生物多様性条約締約国会議(COP10)も開催されます。この機会に、改めて地球に生きる多くの生き物たちのことを考えてみましょう。

15分間のこのDVDで、地球に生きる生き物の一種、ヒトの1人として、生物多様性の意味を考えるきっかけを見出しましょう。

平成22年9月

兵庫県立人と自然の博物館館長
地球生きもの委員会委員
岩槻 邦男

※「地球生きもの委員会」：国際生物多様性年に関する記念事業の実施・促進のため、国内の多様な主体から成る「国際生物多様性年・地球生きもの委員会」を本年1月に設立しました。同委員会委員を中心として、様々な事業を展開しています。詳しくは、地球生きもの委員会 Webサイトをご覧ください ⇒ <http://iybj.jp/>